

〔脳神経外科〕

研修の特徴と内容

【特徴】

脳神経外科の基礎知識を修得するために、選択科目としての初期臨床研修を行う。2年間の初期研修修了後、4年間の研修を継続して行うことにより、日本脳神経外科学会専門医認定制度における認定医試験の受験資格を取得することができる。

【内容】

① 一般目標（GIO）

代表的な脳神経外科疾患（脳腫瘍、脳卒中、頭部外傷など）を正しく診断して適切な初期治療を行える能力を取得する。

② 行動目標（SBO）

1. 意識レベルをすぐに正しく判定できる。(技能)
2. バイタルサイン、身体所見を迅速に把握できる。(技能)
3. 神経学的診察を実施できる。(技能)
4. 神経学的所見を評価できる。(解釈)
5. 基本的な治療手技を実施できる。(技能)
6. 状態に応じ適切な検査を指示することができる。(問題解決)
7. 検査結果を理解できる。(解釈)
8. 検査結果から診断ができる。(解釈)
9. 回診で症例呈示ができる。(技能)
10. 診断に基づき手術適応を判断できる。(解釈)
11. 初期治療で用いる薬剤の選択ができる。(問題解決)
12. 簡単な手術で助手が勤められる。(技能)
13. 簡単な手術症例の術後管理が実施できる。(問題解決)
14. 患者・家族への分かりやすい初期説明ができる。(態度)
15. 病棟スタッフと良好なコミュニケーションができる。(態度)

③ 研修内容（LS）

1. 10人前後の入院患者を受け持ち、指導医、上級医のもと診療に参加する。
2. 簡単な手術では助手、通常の手術では第2または第3助手として、手術チームに加わる。
3. カンファレンス、回診、抄読会に参加する。

④ 教育に関する行事

1. モーニングカンファレンス（ただし木曜日は英語でのカンファレンス）
月曜日～金曜日 8時～9時
2. 抄読会
水曜日、木曜日 8時～8時半
3. 合同ニューロカンファレンス（神経内科と）
第3週の木曜 18時～19時
4. 画像カンファレンス（放射線科と）
月、火、金曜日 8時から（モーニングカンファレンスの中で）
5. 脳卒中カンファレンス（神経内科と）

月、金曜日 8時から (モーニングカンファレンスの中で)

6. ハート、ブレインカンファレンス (循環器内科と)

2ヶ月に1度の水曜日 18時から

7. 病理カンファレンス

不定期

⑤ 研修評価 (E V)

1. 自己評価

研修医手帳へ経験症例を記入しE P O Cを入力する。

2. 指導医による評価

研修医手帳の記入状況、E P O Cへの入力状況、行動目標達成度などを教授、指導医の合議で評価する。

3. 看護師による評価

E P O Cを用いて看護師からの評価を受ける。

4. 研修内容の評価

研修医により脳神経外科研修の評価をE P O Cを用いて行う。

指導医等

教授：吉村 紳一

講師：白川 学

講師：山田 清文

助教：陰山 博人

助教：内田 和孝

助教：阪本 大輔

助教：蔵本 要二

助教：高木 俊範

研修実施責任者

助教：内田 和孝